

○第1回石狩市総合戦略推進懇話会

- ・日時：平成29年7月25日（火）15時から
- ・内容：平成28年度実施事業の点検・評価等について

1. 「B 改善や見直し等が必要」と評価された事業

番号	具体的な事業	懇話会意見	今後の方向性	担当課
1	町内会館などを利用した町内会カレッジの開催支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援課など関係部署が実施している事業を把握すべきでないのか。 ・市民が理解できるように関係機関や団体との打合せ回数等の実績値を記載し、具体的な表現にすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な事業展開に向けて、高齢者支援課など関係部署が実施している事業を把握し、連携・調整を図っていく。 ・記載にあたっては、今後わかりやすい表現を工夫する。 	社会教育課
2	新現役世代と地域・高齢者を結ぶサポートセンター機能の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の不安を解消する相談窓口の設置等を含めた仕組みを検討してはどうか。 ・市民が理解できるように打合せ回数等の実績値を記載し、具体的な表現にすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の不安を解消する相談窓口については、現在、「地域包括支援センター」が担っており、市内に4箇所設置しているが、新現役世代と地域にある社会資源とをマッチングする「サポートセンター機能」を構築し、新現役世代が地域社会に関わりを持ち、活躍できるよう取り進める。 ・記載にあたっては、今後わかりやすい表現を工夫する。 	高齢者支援課
10	農漁業者結婚支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を農漁業者に絞らず多業種の人に参加できるようにしてはどうか。 ・婚活に望むためのセミナーを実施してはどうか。 ・募集する女性も業種等でターゲットを絞ってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次産業を次代に守り継ぐため、農業青年を対象とした結婚支援事業を実施しているが、今後は本市における多業種を対象とした結婚支援事業のニーズや、近隣市町村で実施している婚活事業を参考に検討してまいりたい。 ・セミナーについては、関係機関等が実施しているセミナーを農業青年に周知しているが、今後はセミナーの参加を促すよう、農業青年に更なる働きかけを行っていく。 ・農業に魅力を感じる女性を幅広く募集したいことから、業種を絞ることは現時点では考えていない。 	農政課
26	加工品の開発支援	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩には良い地域資源があるため、地元で製造・加工できるサイクルが必要だと思う。 ・総合的な計画を立て、しっかりした枠組みをつくってはどうか。 ・スイーツをつくる場合、市内お菓子製造事業者と連携して取り組むことは出来ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次・2次・3次産業それぞれが持つ能力を最大限に活かす事が重要だと考えており、産業間の連携する仕組みづくりのための異業種交流環境を構築、提供していく。 ・落花生、さつまいもは試作段階ではあるが生産者と市内の菓子製造事業者が連携し取り組んでおり、好評であることから、引き続き連携して取り組んでまいりたい。 	農政課

27	いしかり食と農の未来づくり事業	養成事業修了者の次のステップ（仕組み）をつくってはどうか（次に繋げる戦略が必要ではないか）。	講座修了者の一部の方は「食と農の応援隊」として、「いしかり地産地消シンポジウム」や「農産物エキスパート養成事業」などのサポーターとして活動している。	農政課
30	若者人材育成・職場定着支援事業	セミナーだけでなく、市内企業を知ってもらうためインターンシップを実施してはどうか。	インターンシップについては各高校等が就職活動の一環として実施しており、市は受け入れ企業の開拓等の側面的な支援をしているが、受け入れ先企業が少ないことから、商工会議所等の関係機関と連携し、受け入れ先企業の開拓に取り組む。	商工労働観光課
50	学生ボランティアによる放課後学習事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学生がボランティア活動することで将来の就職や学生自身の成長に繋がる内容の検討や、有償ボランティアを含めて検討してはどうか。 ・市民が理解できるようにどの大学のどういった地域活動の情報を収集したといった、具体的な表現にすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の内容については、参加者が求める内容や有償・無償のあり方など大学生のニーズを把握し、大学等と連携して検討していく。 ・記載にあたっては、今後わかりやすい表現を工夫する。 	社会教育課
62	空き家活用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の財産でもある空き家を把握することが難しいケースもあると思うが、例えば、空き家となった場合届け出しなければならぬような条例を検討してみてもどうか。 ・恵庭市は「花のまち」として成功したと思うが、石狩市も新たに宅地開発をして人を呼び込むことを考えてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家解消を図る上で、所有者を特定することが難しく課題の一つでもある。これらを解消する上で有効な取り組みについては、専門家の意見も聞きながら今後も研究してまいりたい。 ・新たな宅地開発については、人口減少、少子高齢化が進展する現状において非常に厳しい状況にあるが、まずは、空き家が増加することによる行政サービスや地域コミュニティの低下を防ぐ施策を優先的に取り進めてまいりたい。 	建設総務課

2. 重要業績評価指標（K P I）の変更箇所

※番号の（ ）は冊子「石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の掲載ページ数

番号	重要業績評価指標（K P I）	所管課
7 (8)	平成31年度のカローリング大会実施団体数 <u>5団体</u> ⇒平成31年度のカローリング大会数 5年間で25大会	スポーツ健康課
8 (8)	平成31年度の障がい者参加者人数 <u>35人</u> ⇒平成31年度の障がい者参加者人数 5年間で200人	スポーツ健康課
17 (12)	平成31年度の障がい者等雇用創出人数 <u>10人</u> ⇒平成31年度の障がい者等雇用創出人数 20人	農政課
28 (14)	平成31年度の漁業取扱高 サケ <u>1,500トン</u> ⇒漁業取扱量 サケ 5年間で7,500トン 平成31年度の漁業取扱高 ニシン <u>1,500トン</u> ⇒漁業取扱量 ニシン 5年間で5,000トン	林業水産課
45 (19)	新たな畜産品種の導入件数 5年間で <u>1件</u> ⇒新たな畜産品種の導入件数 5年間で 2件	農政課
46 (19)	平成31年度の市民図書館レファレンス（調査）サービス <u>9,000件</u> ⇒平成31年度の市民図書館レファレンス（調査）サービス 10,000件	農政課
53 (22)	U I J ターン誘導数 5年間で <u>5人</u> ⇒U I J ターン誘導数 5年間で 20人	農政課
54 (22)	地域おこし協力隊定住数 5年間で <u>4人</u> ⇒地域おこし協力隊定住数 5年間で 6人	企画課
56 (22)	環境教育・環境学習の延べ参加人数 5年間で <u>500人</u> ⇒環境教育・環境学習の延べ参加人数 5年間で 2,000人	環境保全課
62 (25)	空き家活用促進事業制度利用件数 <u>5年間で50件（うち25件を市外からの利用（移住者）と設定）</u> ⇒空き家活用促進事業制度利用件数 市外からの利用（移住者）件数 5年間で25件	建設総務課